

北海道開発局旭川開発建設部 御中

『流域委員への資料の説明・ならびに要望書等の申し入れについて』

1. 冊子『サンルダムは本当に必要なのか？～天塩川の治水計画とサンルダム建設計画の問題点』の骨子説明と流域委員への配布要請

私たちはこのたび、表題の冊子を刊行しました。天塩川水系河川整備計画（原案）のうち、サンルダムに焦点をおいて、治水、利水および環境の問題点を明らかにし、ダムだけに頼らない天塩川全体における総合的な河川整備計画を要望するものです。この冊子の骨子を貴建設部にご説明差し上げるとともに、次回流域委員会までに各委員へ速やかに配布いただくよう、お願い申し上げます。

2. 再要望書並びに資料提供の申し入れについて

私たちは、天塩川水系河川整備計画の策定にむけての意見書、要望書・公開質問状等を昨年5月13日以来計4回貴建設部、及び天塩川流域委員会宛に提出していますが、最近になってはじめて旭川開発建設部長名（2月14日付）でご返答をいただきました。

しかしながら、この回答を要約すると、私たちの意見や必要な情報はHPで公開しているとだけあり、私たちのこれまでの申し入れを充分にご理解いただけていないようです。また、ご紹介いただきましたHPに要望した資料は見当たらず、私たちの求める資料請求に不誠実な対応と言わざるを得ない状況です。

さらに、この回答の中で、開かれた開発局、情報公開を積極的に行っている事を強調されておりますが、私たち市民団体の意見・要望に対する先に述べた対応からは到底容認できるものではありません。

ここに、下記の3事項を再度強く要望いたしますので、誠実なご対応を下さるよう重ね重ねお願い申し上げます。

記

- 1) これまでお願いしている資料開示請求に応じること
- 2) 専門部会等設置するなどして流域委員会の運営を改善すること
- 3) 12団体との話し合いの場を設けること

以上

2006年3月20日

「サンルダム建設を考える集い」実行委員会、下川自然を考える会、名寄サンルダムを考える会、サンル川を守る会、大雪と石狩の自然を守る会、旭川・森と川ネット21、環境ネットワーク旭川・地球村、北海道自然文化ネットワーク、遊楽部川の自然を守る会、社団法人『北海道自然保護協会』、社団法人『北海道スポーツフィッシング協会』、北海道の森と川を語る会